

A8644 50系1000番台 筑豊本線 6両セット

予価:15,800円(税別)

JANコード:113332 カートン内入数:12

A8520 DD51-866・冷房改造車

予価:6,400円(税別)

JANコード:111604 カートン内入数:24

商品形態 Nゲージ塗装済完成品 (素材:ABS樹脂製 対象年齢:8歳以上 A8644:ブックケース入り A8520:単品ブラスケース入り)

実車**【A8644】**

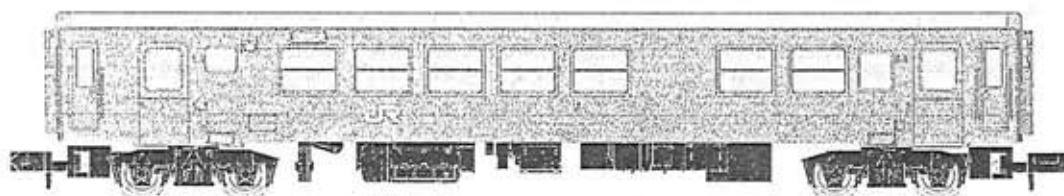
50系はローカル線に使用されていた旧型客車の近代化のために1977年より登場した客車です。形式はオハ50とオハフ50で、一般用客車として初めて側引き戸が自動化されました。1978年からは北海道向けに寒冷地対策として窓が小型1段窓に変更されたオハ51とオハフ51も登場しました。車体色が赤1色のため「レッドトレイン」と呼ばれましたが、JR化以降、ローカル線も急速に気動車化・電車化が進み、現在では一部の私鉄路線とイベント用などに残るのみです。

50系1000番台は1993年に冷房化改造したグループで、元番号に1000を加えた車番になりました。門司、大分に配属され北九州地区および九大本線で使用されましたが、筑豊本線(門司港・若松～飯塚間)での運転を最後に2002年までに全車廃車となりました。

【A8520】

DD51は、本線で活躍していた大型蒸気機関車を置き換えるべく登場したディーゼル機関車です。1962年に試作機が誕生、1964年から量産が開始されました。運転席が車体の中央部にある凸型の車体の特徴です。出力1,100PSのDML61Z形エンジンが2台搭載されています。一般用の基本番台のほか、重連総括制御装置を備えた500番台が1966年から加わり、基本・500番台ともに酷寒地、寒地、暖地向けなどにタイプが分かれます。さらに500番台から暖房用の蒸気発生装置(SG)を省略した貨物用の800番台も製造されました。電化の進捗、客車・貨物列車の減少に伴い、最近では数を減らしつつあります。

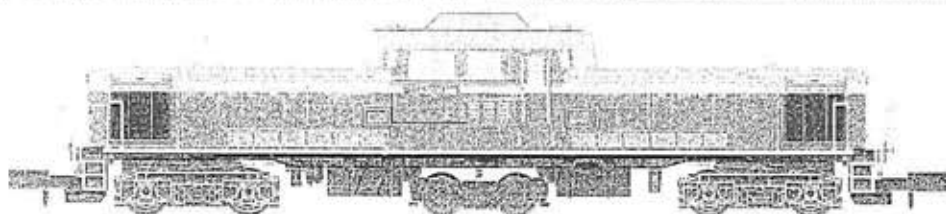
866号機は門司機関区に所属し、冷房を取り付けたためキャブ前後の歩み板に室外ユニットが設置されています。

商品概要**A8644**

- ・マイクロエース客車シリーズの更なる充実。
- ・2000年7月に発売した50系客車セットを元に、筑豊地区で活躍した50系冷房改造車を待望の製品化。
- ・新規金型の採用で、冷房改造により窓が一部埋め込まれた側面を実車に忠実に再現。
- ・ベンチレーターが全て撤去された、九州型50系ならではの屋根上。
- ・テールライトはLED化。新たにON-OFFスイッチを組み込み。
- ・黒染め車輪を採用。
- ・部品共用のため実車とは床下機器が異なります。
- ・当セットに牽引機は含まれておりません。別途A8520・DD51-866 冷房改造車をお求め下さい。
- ・編成

オハフ50- 1288	オハフ50- 1283	オハ50- 1181	オハフ50- 1287	オハ50- 1183	オハフ50- 1279
←ライト→	←ライト→		←ライト→		←ライト→

JR九州商品化申請中

A8520

- ・マイクロエースディーゼル機関車シリーズの更なる充実。
- ・2005年7月発売のDD51を元に、門司機関区所属の800番台を再現。
- ・朱色、グレーに白帯のDD51標準色。50系1000番台の牽引機として活躍したJR貨物所有のDD51。
- ・端梁やデッキ手すり、ラジエーター、ステップ、屋根、列車無線アンテナなどを実車に則して作り分け。
- ・冷房改造車ならではの室外ユニット部品を新規製作し、キャブの前後に取り付け済み。
- ・A8644 50系1000番台の牽引機に最適。
- ・ヘッドライト点灯(ON-OFFスイッチ付き)。
- ・黒染め車輪を採用。

商品化許諾 日本貨物鉄道株式会社

付属品 行先シール(A8644のみ) 1枚